

# 技術力の維持・向上 —技術支援—

## 【概要】

### ① 技術支援

会員が抱える技術的な疑問、悩みに対して、鉄道技術推進センターでは相談窓口を設け、「電話・FAXによる対応」「現地調査」「訪問アドバイス」の3つの支援活動を行っています。

#### (1) 電話・FAXによる対応

会員からの鉄道技術に関する様々な疑問、質問に対して、参考文献の送付や鉄道総研研究者の見解等を文章にまとめて、電話・FAX等により回答するサービスです。

(平成8年度から実施、平成20年度末までに652件実施)

#### (2) 現地調査

中小鉄軌道事業者会員に対して、『鉄道総研の研究者』が現地を訪問して、技術的な調査を行うサービスです。

(平成14年度から実施、平成20年度末までに34件実施)

#### (3) 訪問アドバイス

中小鉄軌道事業者会員に対して、『レールアドバイザー』が現地を訪問して、助言を行うサービスです。

推進センターでは、深い知見と実務経験の豊富な鉄道技術者をレールアドバイザーとして登録しています。

(平成15年度から実施、平成20年度末までに37件実施)

### ② 鉄道技術教材

幅広く基礎的な鉄道技術を学べる初級者向けの教材「わかりやすい鉄道技術」土木編、電気編、車両・運転編の3編を発刊しています。平成20年度に、新たに中堅技術者向けの教材「事故に学ぶ鉄道技術（軌道編）」を作成しました。



わかりやすい鉄道技術



事故に学ぶ鉄道技術

### ③ 推進センター講演会

鉄軌道技術者の技術レベルの向上を図るため、毎年、関心の高いテーマを選定し、主要都市でレールアドバイザーや総研研究者による、推進センター講演会を開催しています。



推進センター講演会

### ④ 地域ブロックごとの意見交換会

地域ブロックごとに、鉄道事業者の方々との意見交換会を開催し、技術的課題や推進センター活動等について情報交換を行っています。平成20年度は、計20回行いました。

## 【技術支援実施例】

### ●平成20年度の主な「電話・FAXによる対応」の例

- (土木) 函渠工に伴う基礎杭施工について
- (軌道) レールの側面摩耗について
- (車両) 機関車の台車枠の亀裂について
- (電力) 電車線支持物の強度計算について
- (信号) 踏切せん光灯の見通しの考え方について

### ●平成20年度の「現地調査」

- (土木) トンネル変状に伴う改修施工に関する調査
- (土木) のり面工の変状対策に関する調査
- (軌道) 路面軌道の分岐器に関する調査
- (軌道) 分岐器と車内面との擦り傷に関する調査



現地調査の状況

### ●平成20年度の「訪問アドバイス」

- (軌道) 道床交換計画の考え方について
- (電力) き電系統における維持管理方法について
- (運転) 運輸管理システム更新時の配慮事項について



訪問アドバイスの状況

## ※技術支援事例集

これまでに実施した技術支援の中から、多くの事業者に関係すると考えられる事例を集めた「技術支援事例集」を作成しました。